

9 学部を擁する国立総合大学の

富山大学は9つの学部で構成される国立の総合大学です。多様な教員が協力・連携し、多彩な授業科目を展開しています。学生も教員も、学部の垣根を越えて混じり合い、相互に刺激し合う機会を、教育プログラムとして用意しています。

富山大学Webシラバス



特色
1

学生の主体的な学びを促し、多様な学修ニーズに応える

多彩な教養教育

1 豊富な科目数

141科目642クラスの豊富な教養科目から、選択可能。



2 9学部の学生が共に学ぶ

1年次は**全学生が五福キャンパスで学ぶ**ため、異なる学部の学生が混成するクラスもあります。学部の壁を越えた交流機会を持つことで、幅広い視野を身に付けることができます。



3 これからの社会に必要な基盤的能力を修得

グローバルな知識基盤社会に貢献していくために必要な、「**組織や社会の一員としての責任感**」「**他者と協力し合うコミュニケーション能力**」の基盤を形成。

多彩な科目例

薬都とやま学

Toyama as a Capital of Medicine

300年以上の歴史を有する「くすりの富山」の始まりは売薬業です。売薬資本が基盤となり、現在の富山県は「薬都とやま」として、製薬産業に加えて多様な関連産業が発達しています。全国的に例をみない「薬都」について、医薬理工学のおよび人文社会学的見地から考察し、富山県の特長を学びます。(担当:薬・医・理・工・人文・芸文等の教員)

日本海学

Japan Seaology

自然科学と経済学の視点から様々な角度で北東アジアの環境を取り上げます。富山県の自然の価値を再認識し、環境問題のメカニズムや原因を知り、問題解決に関わる理工学的手法や社会経済学的手法について理解を深めます。(担当:極東地域研究センター・経済学部・理学部・都市デザイン学部の教員)

富山のものづくり概論

General Manufacturing in Toyama

地方創生の意義や富山県を含めた地方において、働くこと、暮らすことの魅力について理解しつつ、富山県の製造業の魅力や可能性を理解することを目的とします。日本海側有数の集積を誇る富山県の製造業に着目し、「産業立地」と「企業経営」の2つの側面から授業を行います。(担当:地域連携推進機構の教員)

教養としての都市デザイン学

Design as Liberal Arts and Sciences

「都市のデザインはどうあるべきか」の問いは、都市そのものを専門とするか否かに関わらず、多くの人々の生活や社会のあり方に大きく影響し得るテーマです。これからの「持続可能な都市(まち)」をどのように考え、デザインしていくべきか、学部の枠を超え、様々な視点から学んでいきます。(都市デザイン学部・人文学部・医学部・芸術文化学部の教員)

感性をはぐくむ

Heightening of Sensitivity

「感性をはぐくむ」というキーワードを基に、高岡・杉谷・五福の各キャンパスの教員によってオムニバス形式で行われる授業です。芸術、工芸、デザイン、看護、人の脳や地球環境、生命分子まで、様々な教員の専門分野を切り口に「感性」について考察します。(担当:芸術文化学部・理学部・都市デザイン学部・医学部の教員)

身近な医学

Medical science in daily life

世の中にはニセ医学と呼ばれるものがあります。ニセ医学は効果や根拠が不明なだけでなく、健康を害するものまで含まれています。従って我々は、ニセ医学を見抜く知識を持たなくてはなりません。この科目では身近にある医学について、研究と臨床の両側面から広く解説します。(担当:医学部・教養教育院・保健管理センターの教員)

生命の世界

Biological Science

高校での生物学から大学の生命科学への接続を意識しながら、生命科学の基礎を最新の研究成果も含む形で解説します。生命の世界を大局的・統合的に理解できるようになることをねらいとします。(担当:医学部・理学部の教員)

学士力・人間力基礎

Orientation and Student Success

多様な個性や経験を有した履修者全員が、自ら学修上や学生生活上の計画を立てて、正課内外及び学内外において主体的な学びや取り組みを実践できるよう指導・支援する観点から、多種多様な事象や知見等に対して能動的に向き合い、理解し、責任を持って自己を管理する重要性を学ぶ機会を提供します。(担当:キャリアセンター長)

富山大学で学ぶことの魅力

文系・理系の枠組みや、所属学部にとらわれない、分野横断型の学修を促す複数の教育プログラムを提供しています。学問系統ごとの専門的知識や思考だけではなく、学問分野を超えて、複眼的に多面的に物事を捉えていく力を修得できます。修了要件を満たした場合には修了証が交付されます。

具体的な科目名については、ウェブサイト及びシラバスをご覧ください。

特色
2

地域社会が抱える多様な問題や地域を越えたグローバルな課題に立ち向かうための

学部横断型教育プログラム



プログラム名	目的等	修了要件
地域課題解決型人材育成プログラム	<p>地域への意識を高め、創造的な課題解決能力を育成する。</p> 	4科目8単位以上修得
数理・データサイエンス・AI教育プログラム	<p>デジタル社会の「読み・書き・そろばん」である数理・データサイエンス・AIの基礎的素養の修得、及び自らの専門分野に応用できる力を修得する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>[レベル1・2]</p>  <p>認定の有効期限 令和8年3月31日まで</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>[レベル3(工学部)]</p>  <p>認定の有効期限 令和9年3月31日まで</p> </div> </div>	<p>レベル1 4科目8単位以上修得</p> <p>レベル2 8科目16単位以上修得 (教養2科目4単位以上+ 専門3科目6単位以上)</p> <p>レベル3 (工学部)8科目14単位以上修得 (都市デザイン学部)9科目15単位以上修得</p> <p>実践活用レベル レベル2の修了要件+DS実践演習科目の中から3科目6単位以上修得</p>
SDGs教育プログラム	<p>文系・理系の枠を超え、SDGsについて幅広く学び、SDGsへの理解を深める。</p>  	<p>エントリーレベル 6目標以上かつ12単位以上修得</p> <p>スタンダードレベル 9目標以上かつ18単位以上修得</p> <p>アドバンスレベル 12目標以上かつ24単位以上修得</p>
ENGINE教育プログラム	<p>信州大学、金沢大学と連携し、地域において、新たな観光・生活産業を創出するトップリーダーを育成する。</p> <p>企業の方を交えたグループ学習により、地域課題について理解を深めたのち、地域企業でのインターンシップにより課題解決を体験する。</p> 	<p>10単位以上修得</p> <p>リテラシー強化科目 6単位以上</p> <p>キャリア形成科目 2単位以上</p> <p>実践力強化科目 2単位以上</p> <p>※その他ENGINEイベントの参加が必要です。</p>

新時代に柔軟に適応し、社会に貢献できる人材になるために。

教育の 三本柱

- I データサイエンス教育** : 社会に必要な“データやデジタル技術を使いこなす力”
- II 英語教育** : グローバルな世界で通用するコミュニケーション能力
- III アクティブ・ラーニング推進** : 自ら考え、学び、課題解決に繋げる“姿勢”

I データサイエンス教育

文系理系を超えた基礎力 — それがDS力

現代社会には様々な情報があふれています。ビッグデータ、IoT (Internet of Things)、AI(人工知能)等の先進的な技術が、これからの「Society5.0」と呼ばれる社会を支えていくことになります。

これから社会に出る皆さんは、これらの技術を使いこなすことで、自らの活動領域を広げていくことができます。

文系理系、学部や専門分野が異なっても、仕事や研究の進め方は共通するところがあります。富山大学では、全学部において入学から卒業まで一貫性をもった数理・データサイエンス(DS)教育を行い、社会に貢献できる人材を育成します。

DS力 × 専門性 = 社会が求める人材

富山大学では、数理・データサイエンスに関する基礎力を培うために関連する授業科目を体系化した「**数理・データサイエンス・AI教育プログラム**」を令和2年度以降に入学する全ての学部学生に提供します。1年次に必修科目「情報処理」でパソコンの基本的な使い方や、数理・データサイエンスに関する基本を学びます。その後は、数理・データサイエンスに関する科目群の中から、興味・関心のある科目を選択履修し、知識の幅を広げることができます。

2年次以降は、各学部の専門教育の中で、それぞれの専門性を反映した科目が用意されています。関心があれば他学部が開講する科目も履修することができます。数理・データサイエンスに関する科目群の中から一定の単位数を修得した学生は、その証明として、プログラム修了証が授与されます。

富山大学の数理・データサイエンス教育イメージ図



III アクティブ・ラーニング推進

富山大学では、「学生の主体的な学びを促す」ことを、全学における教育目標として明記しています。

教員による一方向的な講義形式の教育と異なる、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法である「アクティブ・ラーニング」の推進を、全学的に進めています。グループワークやディスカッション、反転授業、PBL型授業等の手法も取り入れながら、学生が自ら考え課題を解決に導く能力の修得を目指しています。アクティブ・ラーニング導入率は、2022年度の後学期では73%まで広がっています。



- 富山大学は「大学の教育の目標」として、「高い使命感と創造力のある人材を育成する総合大学」を目指し、次のことを明記しています。
1. 学生の主体的な学びを促し、多様な学修ニーズに応え、教育の質を保证するために、教育環境の充実と教育システムの改善を図り、教員の教授能力の不断の向上に努める。
 2. 教養教育と専門教育を充実し、グローバルな知識基盤社会に貢献できる、豊かな人間性と創造的問題解決能力を持つ人材を育成する。

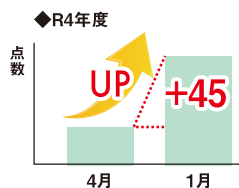
II 英語教育

英語力向上のためのしくみと環境を整備しています。1年次の教養教育の英語に、TOEIC試験を前後で組み合わせ、e-ラーニングを導入し継続的な英語学習を可能としています。また、2年次以降は各学部の専門性に応じたプログラムを用意しています。



●TOEIC-IPテストを2回受験

1年次に2回(4月と12月以降)と3年次に1回、大学による費用負担の下、TOEIC-IPテストの受験機会を設けています。R4年度入学者では、4月と比較して、1月の平均点が45ポイント上昇しました。



●いつでもどこでも英語学習

各自の目的・レベルに合わせて英語学習ができるe-ラーニングシステム「ALC NetAcademy NEXT」を導入しています。いつでもどこでも無料で英語学習ができます。

●教養教育終了後に短期海外研修

教養教育終了後の2~3月に、60名程度の学生を選抜し、国外の教育機関へ派遣する短期海外派遣プログラムに参加できます(費用の一部を大学が補助)。ベトナムに37名、マレーシアに20名の学生が、2023年2月から3月の約1か月参加しました。

●留学支援

「交換留学オリエンテーション」「海外留学フェアin富山大学」のほか、留学相談にも随時対応。「TOEFL」の対策講座や「TOEFL団体向けテスト(TOEFL ITP)」を実施。
[参考]チャレンジしてみる?海外での学びと国際交流(リーフレット)



教養教育の講義が中心的に
行われる共通教育棟には、
学生同士が議論しやすい
教室を整備しています。

図書館内には、アクティブラーニングゾーンとプレゼンテーションゾーンがあります。学生同士の関連な意見交換・発表の場を用意しています。

